

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

機種により形状は異なります。
本書の表示例は A タイプを使用しています。

時刻・カレンダーモード

< Aタイプ >

< Bタイプ >

曜日の見方

SU:日	MO:月	TU:火	WE:水
TH:木	FR:金	SA:土	

グラフ表示
現在時刻の秒に連動して点灯 / 消灯をくりかえします。

ELバックライト ON / OFF 切り替え
◎ ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けるごとに確認音が鳴り、ELバックライトの ON (点灯) / OFF が切り替わります。
「ELバックライトの自動発光」参照

表示照明用 EL バックライトについて

どのモードのときでも、◎ ボタンを 1 回押すと文字板が約 2 秒間発光します。
発光しているときにもう一度◎ ボタンを押すと、その時点から引き続き約 2 秒間発光します。
ライト OFF (消灯) でも◎ ボタンを押すと発光します。



EL バックライトの自動発光

ライト ON (点灯) のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

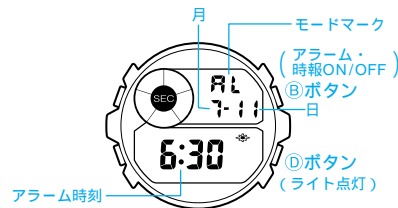
< EL バックライトの発光に関するご注意 >

直射日光下では、発光が見えにくくなります。
電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。
発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
発光中に時計本体より音が聞こえますが、これは EL パネルが発光する際の振動音であり、異常ではありません。

◎ (各機能(ライト点灯は除く)を使用した後に◎ ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。)

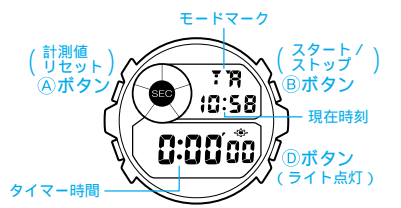
アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。



タイマーモード

1 秒単位で、最大 24 時間までの減算計測ができます。



ストップウォッチモード

1/100 秒単位 1 時間を超えると 1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 24 時間計まで計測できます。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

秒の合わせ方...30 秒以内の遅れ / 進みの修正

月に 1 度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

(A) ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、(B) ボタンを押します

→ 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分くりあがって、「00 秒」になります。

時報は「時報サービス電話 117 番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

(A) ボタンを押して点滅を止めます



秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2 ~ 3 分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

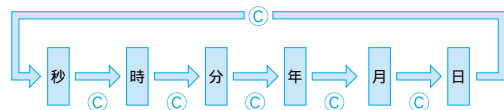
(A) ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

(C) ボタンを押します

→ (C) ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

(B) ボタンを押します

→ (B) ボタンを押すごとに、点滅している数字が 1 つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



12/24 時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、(D) ボタンを押すごとに 12 時間制表示(午前 / 午後 "P") と 24 時間制表示(24) とが切り替わります。

上記(2) ~ (3) の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

「時」のセットのとき午前 / 午後(P)、24 時間制にご注意ください。

「年」は 1995 ~ 2039 年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、(A) ボタンを押して点滅を止めます

アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを1回押すと、アラームモードになります。アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

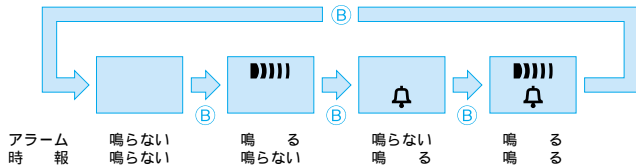
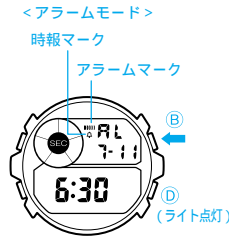
アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

⑥ボタンを押します

→⑥ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

なお、アラーム時刻をセットすると“|||||”が点灯し、自動的にアラームONとなります。(「アラーム時刻のセット」参照)



アラーム・時報の報知方法

アラーム ON のとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

時報 ON のとき

毎正時(00分)になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



ELバックライトON(点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

鳴っている電子音を止めるには

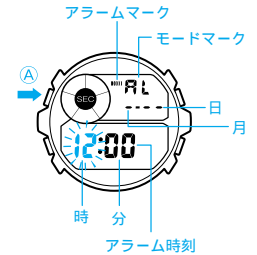
アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、④⑤⑥⑦ボタンのうち、いずれかが1つを押します。

アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

④ボタンを押します

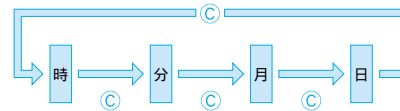
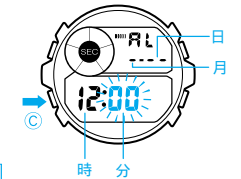
→アラーム時刻の「時」が点滅します。このとき“|||||”が点灯し、アラームONとなります。



(2)セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

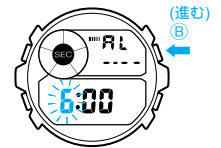
→③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所のセット

⑥ボタンを押します

→⑥ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



「時」のセットのとき、午前/午後“P”にご注意ください。時刻を24時間制“24”にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らしたいとき → 「時・分」のみセット
- 1ヵ月間毎日鳴らしたいとき → 「月・時・分」のみセット
- 毎月同じ日に鳴らしたいとき → 「日・時・分」のみセット
- 指定月日に鳴らしたいとき → 「月・日・時・分」すべてセット

(4)セット後、点滅を止めるには、

④ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

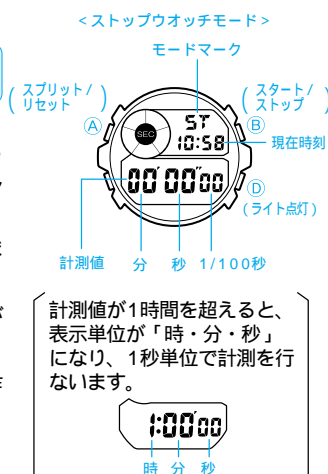
ストップウォッチモードのときに、

⑧ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測中に⑨ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度⑨ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

計測終了後⑨ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

⑧・⑨ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。



通常計測

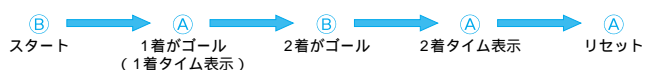


積算計測...ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(⑧ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



タイマーの使い方 時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

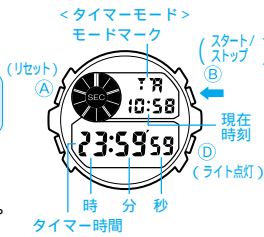
タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

③ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

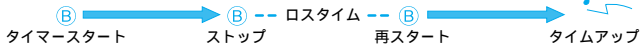
→ 減算計測は1秒単位で行ないます。

①ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



ロスタイムがあるときは

減算計測中、③ボタンでストップ後、もう一度③ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

* オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

ELバックライトON(点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) "AUTO" 点灯
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

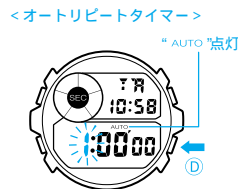
タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

①ボタンを押します

→ ①ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯/消灯を繰り返します。

"AUTO" が消灯のときはリピートタイマー、
"AUTO" が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、タイマーモードのときに①③④⑤ボタンのうち、いずれか1つを押します。

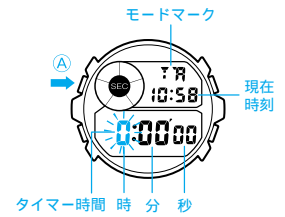
タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒(0:00'01)」から「24時間(0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

①ボタンを押します

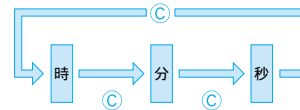
→ タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

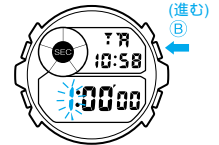
→ ③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

⑤ボタンを押します

→ ⑤ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



表示が点滅しているときに④ボタンを押すと、タイマー方法(リピートタイマー/オートリピートタイマー)が選ばれます。(詳しくは左記「タイマー方法を選ぶ」参照)



(4) セット後、点滅を止めるには

①ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。